

# せきおか 学校田新聞

5・6年生が中心となり、佐藤庄平先生に教えていただきながら一生懸命取り組んでいる学校田の様子が**ぎっしり**と詰まった新聞です!!



**【種まき】**育苗箱の中に水で濡らした育苗箱下敷きシートを敷き、その上に土を入れ苗床をつくり、土を均等にならし、土全体が湿るくらい水をかけます。『種もみ』をまき、薄く土を被せ、種もみを覆います。



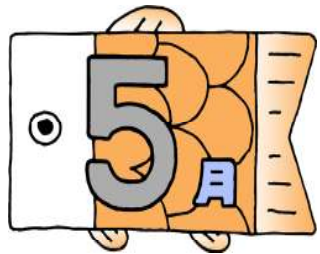
1年生は初めての田植えです。兼業農家の多い地域ですが、家庭で実施に田んぼに素足で入る田植えの経験がある児童はそんなに多くはありません。しかし、泥の感触、稲を植える力加減など1束植えるごとに感覚をつかみ、スムーズに作業することができました。6年生はもうベテラン!!自分の担当箇所が終わると、ほかの学年の手が届かなかったところ、機械が植え残した箇所をていねいに手植えしてくれました。収穫祭でおいしいお餅をいただくため、校長先生はじめ先生方も一緒に作業に取り組みます。きっと『関岡小』ならではの経験をすることができたのではないのでしょうか。



所が終わると、ほかの学年の手が届かなかったところ、機械が植え残した箇所をていねいに手植えしてくれました。収穫祭でおいしいお餅をいただくため、校長先生はじめ先生方も一緒に作業に取り組みます。きっと『関岡小』ならではの経験をすることができたのではないのでしょうか。



**【苗の観察】**庄平先生が発芽した苗を軽トラックの荷台に載せ、学校に来て下さいました。発芽したばかりの苗はまだ白くてやわらかいです。種をまいて3日で発芽することに驚きました。



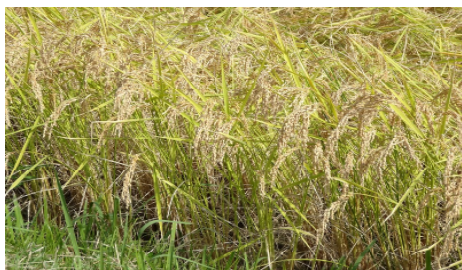
**【田植え】**庄平先生所有の田んぼをお借りして今年度で24年目の田植えです。子どもたちの手植えだけではとても手に負えません。保護者の皆様のお力をお借りして、1/3ほどの面積を機械で植えていただきます。等間隔に仕切られた道具で、田んぼを縦横に歩き手植えの目印をつけます。みんなが植えていく目印となるので、できるだけ曲がらないようにしなければなりません。やってみると意外と難しいんですよ。



約1ヶ月前にまいた種もみからびっしりと根が出て、立派な苗に成長しました。苗は小さな株にわけ、そこからさらに2~3本を1束にして植えていきます。



田植えの後の一コマ。「おいしいお餅に…」と心をこめて行った田植え子どもたちもみんな笑顔で終わることができました。秋にはおいしいお餅が食べるのが今からとても楽しみです!!



**【脱穀】**。稲作活動のまとめ、脱穀です。今年度は田んぼで実施しました。田んぼのあぜにブルーシートを広げ、お米が飛ばないように工夫します。

本校では、『千歯こぎ』→『足踏脱穀機』→『ハーベスタ』と昔ながらの農機具での脱穀体験も行います。



**【稲刈り】**

待ちに待った稲刈りです！雨が続き、たわわに実った稲は頭が重そうです。刈り取った稲をかける『はぜ』を立てられる広さまで『バインダー』という機械を使い、保護者の方と庄平先生に刈っていただきました。今年度は、児童・教員・保護者が5名1チームとなり稲刈りを進めていくようにしました。

- ①5・6年生がかまで刈る。
- ②3・4年生は稲の端をそろえてちょうど良い太さの束にして大人に渡す。



③保護者か教師が児童の後ろにつき、中学年から渡されたものを腰につけたわらでその場で縛る。

④1・2年生は保護者が縛ったわらをはぜに運ぶ。

ひとりひとりが自分の役割をきちんとこなし、自分の仕事が終わると、ほかのところの作業を手伝ったり、田んぼに落ちている稲を1本ずつひろい、束になった稲へ加えるなど、『心をこめて』作業する姿が多くみられました。



庄平先生にご指導いただきながら、まずは『千歯こぎ』での脱穀です。1つの束を3つほどにわけ、歯にかけていきます。稲を歯にかけるときの角度、束の太さなど、加減が難しかったです。



つぎに『足踏脱穀機』での脱穀を体験しました。ペダルを踏み、回転数を上げ、ある程度のスピードになったら稲の束をまわしながら回転歯にかけます。回転歯のスピードに負けないようにしつ

かりと苗を持ち、苗を前後に動かし、回転させながら米粒が残らないようにします。

最後に『ハーベスタ』にかけます。ハーベスタの構造は、『足踏脱穀機』と少し似ています。稲を数束ずつトレーにのせ、機械の内部に投入していきます。すると機械の内部でわらと米粒にわけられ、『籾』と『わら』でそれぞれ別の出口に出されます。田んぼで育ったものが『食べもの』へと変化する瞬間ですね。



学校田での米作りという豊かな体験は、豊かな感性を育て、よりよい学びを促します。そして、その子らしい感動を生み、その子らしい感想や考えを生みます。一人ひとり得た感想がちがいます。これは、教室では味わうことのできない素晴らしい学びです。24年間稲作指導をして下さっている佐藤庄平先生に感謝するとともに、子どもたちに与えられた豊かな環境に感謝したいと感じました。

